
中国情報（砂糖）

2010年2月2日号

©2009年12月における中国の砂糖類市場観測情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年12月における中国の砂糖類市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内砂糖価格は引き続き上昇

2009年12月の国内食糖価格の平均卸売価格は1トン当たり4,820元、前月比12.8%高となった。

2 国際砂糖価格は大幅に上昇

2009年12月のニューヨーク11号原糖平均価格は、月初の1ポンド当たり22.7セントから、月末には同27.3セントへと4.6セント上昇し、過去28年で最も高い値となった。月平均価格は同25セントで、前月比12.6%高、前年同月の2.2倍となった。

3 食糖の内外価格差は縮小

2009年12月の食糖輸入価格（珠江三角洲（広州、香港、マカオ、深圳などを含む珠江河口の中国の一大経済圏）の通関後価格（C I F + 関税等）は、1トン当たり6,155元、国内甘蔗糖主産地卸売価格の同1,335元高となり、内外価格差は前月より縮小した。

4 1～11月の累計食糖輸入量は大幅増加

海関統計によれば、11月の食糖輸入量は前月比38.6%減の3.5万トン、輸出量は同57.3%増の5,576.4トンとなった。

1～11月の累計食糖輸入量は、対前年同期比43.5%増の104.4万トン、輸出量は、同6.2%増の5.8万トンとなった。

5 2010/11年度の国内食糖生産量は回復基調

砂糖価格が高騰しており、2010/11年度甘蔗作付面積は、回復基調であり、食糖生産量は通常であれば増加するであろう。

6 2010/11年度の世界食糖需給は供給過剰

ISOの11月の予測によれば、インドの食糖生産量のある程度の回復の影響を受け、2009/10年度の世界食糖需給における供給不足は、9月予測（粗糖換算）の840万トンから720万トンに減少し、2008/09年度の供給不足は1,040万トンを下回ると予測されている。2010/11年度の同需給については、タイ、ロシア、ブラジルなどの国の増産により、供給は需要を上回ると見込まれている。